

大田区健康経営事業所認定制度の構築

KEYWORDS 健康経営、大田区、産業保健



CATEGORY

健康社会

個人研究

研究者紹介



医療保健学部 看護学科
教授 五十嵐千代

主な学会発表
論文・著書・社会活動

【論文】

【1】産業保健における産業保健看護職の役割と展望—すべての働く人に産業保健サービスを届けるために—, 産業医学レビュー, Vol.36, No.3, P.213-P.234, 2024

【執筆】

【1】職場診断マニュアル, メディカ出版, 2023

【2】産業保健看護学, 公益財団法人産業医学振興財団, 2023

【受賞】

第74回保健文化賞(天皇皇后両陛下拝読), 厚生労働大臣賞, 2022
NHK厚生文化事業団賞, 朝日新聞厚生文化事業団賞, 2022

<https://www.teu.ac.jp/gakubu/medical/center/index.html>

世界で類を見ない少子高齢化のわが国において、労働生産人口は減少しつつあり、労働年齢も高齢化しています。人生100年時代の中、生涯現役であるためには、働く世代の健康確保が重要です。大企業や中小企業、町工場も多く存在する大田区で、経営に健康を取り入れた大田区独自の認証制度を構築しました。

01 おおた健康経営事業所認定



経済産業省認定の健康経営認証は、小規模事業所にとって、ハードルが高いことと、認定基準が、食事・運動・禁煙などの健康づくり活動に焦点があたっていることから、ストレス対策、過重労働対策、有害業務管理など、労働衛生としての法遵守をしていない所謂ブラック企業がホワイト企業を取得する見かけだけの健康経営事業所が問題になっています。そこで、2019(令和元)年に大田区の健康医療政策課とともに、事業者が従業員の健康を戦略的に推進する健康経営の仕組みを構築し、大田区で働く人が活き活きと元気で働けることを目指しました。2023(令和5)年度で5年目を迎え、事業は大きく発展しています。

02 大田区長も本プロジェクトに期待!



少子高齢化社会において、大田区で働く人々が元気で活き活きと働くことは、大田区の産業の活性化に繋がり、経済的活動に直結します。鈴木晶雅大田区長も、本プロジェクトに多大な期待をよせています。2023年度認定は、ゴールド7社、シルバー15社、ブロンズ22社の計44社が認定となりました。大企業だけでなく従業員数50人未満の事業所も32社あり、業種も様々でした。健康経営は企業価値を生みますが、本事業によりリクルート活動にも好影響が出ているとの事です。表彰式には、受賞企業の代表取締役の方が多く参加され、喜びと活気に満ちていました。

想定される活用例、相談可能な分野

- 大田区の企業生産性についての支援ができます。
- 大田区の働く人への健康支援についてサポートできます。
- 健康経営・産業保健についての情報提供ができます。